

平成 31 年度事業計画書

テーマ：医療・介護・福祉ネットワークの連携を図り、心身機能の自立支援と安心ある暮らしの地域交流を目指す

サブテーマ：利用者・家族との信頼関係を深め、多職種と連携し安全で安心できる看護を提供する

白楽荘 医務室

1. 安全で安心した生活を送れるよう健康管理を行う

高齢者の特徴を踏まえ、他職種と連携し、利用者・家族の意思を尊重した看護を行う

- ①利用者個々の疾患や服薬内容、精神、心理状態を把握する。
- ②多職種から情報を収集し、異常の早期発見・対応に繋げる。
- ③日頃から家族とコミュニケーションを図り、信頼関係を築く。
- ④体調変化時には薬剤の影響を考慮し、主治医と相談、見直しを行う。
- ⑤個々の嚥下機能に適した食事形態を検討し、提供することで誤嚥を防ぐ。

クリニックと連携し、入退院の適切な対応ができる

- ①家族の意向を確認し、医師の判断により入退院の見極めを行う。
- ②入院中は病院との連携を密にし、退院の受け入れに備える。

褥瘡の発生や、拘縮の予防・改善

- ①専用クッションの導入、評価を行い、適した使用を実施する。
- ②統一したポジショニングの提供のため、多職種間の連携を図る。
- ③専門講師による研修を行い、スキルアップを図る。

2. 看取りケアの充実

多職種により自然で安らかな最後を迎えられるよう支援する

- ①看取りの研修や看取りカンファレンスに参加することで知識や理解を深める。
- ②医療・生活の両面からその人らしさをアセスメントし、ケアに繋げる。
- ③多職種間で情報を共有する。
- ④看取りの状況や、日々の変化を家族に伝え、今後予測される身体的変化や看取りの流れを説明し、理解を得る。
- ⑤利用者・家族の思いを尊重し、適時相談にのり、安心できる声かけをする。